

4-4. 附帯施設、外構施設の検討

(1) 多様化する利用者への対応

建物や諸設備のバリアフリー化、ユニバーサルデザインを採用する。

(2) 駐車場

表4-7. 駐車場台数

	既存	計画
一般車用	19台	30台程度
車いす用	—	1台程度
大型車用	—	4台程度

(3) 管理用通路

施設建屋の周囲に管理用車両が通行できる通路を設ける。

(4) 管理人用住宅

保存とする。

(5) つつじ園

保存とする。

(6) 緩衝緑地帯

敷地周囲には、近隣からの視線対策として、植樹を行う。

(7) 築山

待合部門外部には、景色を眺めつつ周囲の墓地への視線を遮るような緩やかな築山を設ける。

(8) 強風対策

地域的に、南西方向の風が強く吹くため、施設出入口、キャノピー前に防風のための壁または柵を設ける。